

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部身体障害者福祉会館及びふじみ園	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【南身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・社会福祉教室:全5回 196名 ・親子手話教室:全3回 66名 ・入門点字講習会:全5回 20名 〔作業室〕※令和元年度末現在 ・在籍数:生活介護 18名(定員20名)</p> <p>・親子点字教室:全2回 47名 ・入門手話講習会:全3回 19名</p> <p>【ふじみ園】※令和元年度末現在 ・在籍数:生活介護 53名(定員50名) 就労継続B 10名(定員10名)</p>																																													
収支実績	<p>身障会館・作業室全体 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>80,929,357</td></tr> <tr><td>委託料他</td><td>79,716,200</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>428,251</td></tr> <tr><td>その他</td><td>784,906</td></tr> <tr><td>支出</td><td>77,277,836</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>56,086,459</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>14,419,253</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>5,782,511</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>386,720</td></tr> <tr><td>その他</td><td>602,893</td></tr> <tr><td>差額</td><td>3,651,521</td></tr> </table>	収入	80,929,357	委託料他	79,716,200	就労支援事業	428,251	その他	784,906	支出	77,277,836	人件費	56,086,459	事務費	14,419,253	事業費	5,782,511	就労支援事業	386,720	その他	602,893	差額	3,651,521	<p>ふじみ園 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>185,495,572</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>4,302,456</td></tr> <tr><td>自立支援費等</td><td>179,794,618</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,398,498</td></tr> <tr><td>支出</td><td>128,881,388</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>94,310,593</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>18,843,441</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>10,528,660</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>4,114,902</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,083,792</td></tr> <tr><td>差額</td><td>56,614,184</td></tr> </table>	収入	185,495,572	就労支援事業	4,302,456	自立支援費等	179,794,618	その他	1,398,498	支出	128,881,388	人件費	94,310,593	事務費	18,843,441	事業費	10,528,660	就労支援事業	4,114,902	その他	1,083,792	差額	56,614,184
収入	80,929,357																																													
委託料他	79,716,200																																													
就労支援事業	428,251																																													
その他	784,906																																													
支出	77,277,836																																													
人件費	56,086,459																																													
事務費	14,419,253																																													
事業費	5,782,511																																													
就労支援事業	386,720																																													
その他	602,893																																													
差額	3,651,521																																													
収入	185,495,572																																													
就労支援事業	4,302,456																																													
自立支援費等	179,794,618																																													
その他	1,398,498																																													
支出	128,881,388																																													
人件費	94,310,593																																													
事務費	18,843,441																																													
事業費	10,528,660																																													
就労支援事業	4,114,902																																													
その他	1,083,792																																													
差額	56,614,184																																													
サービス向上の取組	<p>・会館では、障害者に関する基礎的な知識や接し方、ボランティア活動の意義や心構えを学ぶことを目的とした社会福祉講座を新たな小学校で行うなど積極的に実施している。</p> <p>・ふじみ園では、公園等の清掃活動を定期的に行い、その活動が認知され、「花壇の整備」のボランティア依頼を受ける等の地域貢献を行うとともに、学校の夏休みを利用したワークショップを行う等、地域との交流に努めている。</p>																																													

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・作業室では、従来からの自主製品製作以外に、企業とのタイアップ製品製作や新型コロナウイルス感染拡大時のマスク不足に対応するため布マスクを作製するなど、工賃向上に向けて、適切に取り組んでいる。 ・ふじみ園では、作業を中心とした活動の中で、利用者からの要望をもとに社会経験の拡大を目的としたバスハイクやレクリエーション活動を実施するとともに、週1回施設外就労として「リサイクル工場」に参加するなど、積極的に社会的な交流を持てるように努めている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については人員配置の見直しにより人件費の抑制に努め、サービスの質を落とすことなく経費の削減を行った。 ・概ね良好な収入状況であり、適切な会計処理が行われている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業室では、毎月行っている利用者の会及び家族の会で、おやつ調理やリハビリ訓練について意見が出され、新たに取り入れるなど、利用者の意見を収集し、サービス向上に取り組んでいる。 ふじみ園では、新たに保護者会にて利用者が参加している行事や施設外就労での様子のスライドショーを行い、活動内容を紹介したことが好評を受け、再度実施した結果、今後も継続することとなるなど、利用者からのニーズに丁寧に応えている。また、良質かつ適切な福祉サービスの提供のため、第三者評価を受審している。 仲間の会を毎月開催し、レクリエーション外出の振り返りや次回の希望を引き出すなど、利用者主体の支援を行っている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全の取り組みとして、災害時の行動マニュアルを整備するとともに二次避難所の連絡会議に参加し、備蓄等の情報交換を行うなど、利用者の安全に努めた。また新たに水害対策マニュアルを整備した。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様書に沿った施設管理が行われている。また、個人情報の取扱いに配慮し、適正に管理している。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・会館では、障害者に関する基礎的な知識や接し方、ボランティア活動の意義や心構えを学ぶことを目的とした社会福祉講座を新たな小学校で行うなど積極的に実施している点が評価できる。
- ・作業室では、従来からの自主製品作製以外に、企業とのタイアップ製品製作や新型コロナウイルス感染拡大時のマスク不足に対応するため布マスクを作製するなどして工賃向上につなげたことが評価できる。
- ・ふじみ園では、自立支援協議会に参加して、地域ニーズを把握、課題解決を検討することで、地域の障害者福祉の向上に寄与している。また、川崎市社協が主催の「ちょこボラ」講座や「手をつなぐフェスティバル」等に参加し、地域との交流を深められていることが評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・今後も利用者の高齢化や重度化が進んでいくため、課題を整理しながら、状況に合わせて支援マニュアル等を定期的に見直す仕組みを作ること。